

水草研究会第11回全国集会報告

今年度の全国集会は、7月29-30日の2日間にわたり、島根県松江市で開催された。交通の便が悪いにもかかわらず各地から44名の参加者があり、初日に宍道湖畔の「ホテルなにわ別館」の大広間において、次の11の研究発表が行なわれた。

- 1. 相生啓子：アマモの生育環境
- 2. 生嶋 功・栗原真理：富栄養水域で群落を維持するオニビシのストラテジー
- 3. 秋山 優・国井秀伸：水生植物の藻類に対するアレロパシー効果
- 4. 渡辺義人・桜井善雄：ヨシ地上部と地下部における化学成分の存在比
- 5. 桜井善雄・荻木新一郎・上野直也：ヨシの植栽における立地条件と植栽方法の検討
- 6. 森 清和・長田光世：横浜本牧市民公園とんぼ池の植栽計画について
- 7. 大滝末男：沖縄（本島・石垣島・西表島）の水草について
- 8. 波田善夫：岡山県湯原湖の湖岸植生

- 9. 植田邦彦：周伊勢湾要素の植物地理
 - 10. 下田路子：西条盆地（広島県）のコウホネ類
 - 11. 国井秀伸・国井加代子・麻生 薫・阪田和彦：宍道湖・中海集水域の水草相
- <座長> 1-3 沖 陽子；4-6 山崎史織
7-8 下田路子；9-11 角野康郎

今回の発表会の印象として、「とんぼ池の植栽計画」とか「周伊勢湾要素の植物地理」とかの異色の、しかし興味深いものが含まれ、その他の発表の内容も、かなり専門的だったことが挙げられよう。予定したよりも多くの研究発表があったために、討論の時間が限られてしまったのが残念であった。発表会に続いて総会が開かれ、会員状況や会計についての報告の後、次期の全国集会の開催地を新潟とする等の決議を行なった（別記参照のこと）。

恒例の懇親会は夕方6時半より開催された。全員が揃うまでの時間を利用して、大滝先生の持参された学研の教育ビデオ「日光・肥料と植物-ウキクサの育ちかた」（18分）がアトラクションとして上映され、その後桜井



先生の挨拶に続いて賑やかに会員相互の親睦が計られた。料理は思った以上においしく、食べきれないほどであった。西原氏の持参されたお酒の気が高かったためか、あるいはビールのおいしい季節であったせいも、注文した日本酒は大分余ったようである。

2日目は、マイクロバス、ジャンボタクシー、普通のタクシー、そして自家用車という4台の車に分乗するという変則的な編成で、朝8時半より宍道湖を一周するコースで水草の観察を行ない、平野部と丘陵部のため池および斐伊川河口を訪れた。参加者は40名であった。まず宍道湖の北岸の「灘」という場所にある舟溜りにおいて、オオササエビモ（開花中）、セキショウモ、エビモの生育を観察した。このコンクリート壁にはフナムシもあり、宍道湖が海につながっていることが実感できた。次に大垣町にある「円木池」を訪れた。この池は宍道湖周辺のため池のうちで、もっとも水草の種類数が豊富な池である。当日は岸辺からの観察ということもあり、また時期的に早かったせいもあり、それ程多くの種は見られなかったようである。それでも抽水植物のマコモや浮葉植物のヒシ、ガガブタ、ジュンサイ、ヒツジグサの他、アオウキクサ、クログワイ、イヌタヌキモ、ホソバミズヒキモ等が見られ、池に隣接する水田にはシャジクモが繁茂していた。その次の「池裡池」にはヒシ、ガガブタが見られ、小水路にはキクモが生えていた。平田市の「胡麻谷」には多数のため池があり、オグラノフサモ、ヒツジグサ、ジュンサイ、ホソバミズヒキモ、マツモ、ヒシ等が見られた。

昼食後、斐伊川河口域の小河川のひとつである「学頭屋（がくとうや）川」で、アサザ、オオカナダモ、ササバモ、ヤナギモ、ホソバミズヒキモ、オモダカを確認した。次の目的地は、有名な玉造温泉の南に位置する標高約400mの「忌部（いんべ）高原」である。この自然休養林にはいくつかの池があり、フトヒルムシロ、ジュンサイ、ヒツジグサ、タヌキモの仲間等、弱酸性の水体を好む水草が多く見られた。

以上の観察を終え、松江駅には予定通り午後3時半に到着した。当日はよく晴れた暑い一日で、午後のために用意したジュースを昼食前に飲んでしまったりした。時間の限られたスケジュールであり、あわただしい観察会であったと思うが、とりあえずは宍道湖周辺の水草相を概観してもらえたのではと考えている。

至らない点が数々あったにもかかわらず、無事に本年



〔写真〕円木池での観察風景

度の全国集会を終えることができたのも、参加者の皆様のご協力の賜と考えております。ここに深く感謝いたします。

(国井秀伸 記)

〔総会報告〕

I. 報告事項

1. 会員状況 (1988.8-1989.7)

入会	18名
退会	7名
会則8条による退会	4名
現会員数	248名

2. 昭和63年度事業報告

- ・会報発行 No.31 (3月), No.32 (6月), No.33・34 [10周年記念号] (1989年1月)
- ・第10回全国集会開催 (8月6～7日、東京都立神代植物公園)

3. 昭和63年度会計報告

〔収入〕

前年度繰越金	292,056
会費	663,500
別刷代	12,000
バックナンバー売上金	87,100
利息	3,285
全国集会余剰金 (寄付金含む)	191,076

合計 1,249,017